

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和7年5月1日現在

江戸川区立篠崎第四小学校

全国学力・学習状況調査		
A・B層の割合		
年度	国語	算数
令和8年度の目標	70.0%	65.0%
令和7年度の目標	68.0%	60.0%
令和6年度の結果	65.7%	59.1%
令和5年度の結果	59.2%	68.6%

令和6年度江戸川区学力調査結果		
A・B層の割合		
学年	国語	算数
第6学年	62.7%	59.6%
第5学年	63.1%	56.3%
第4学年	44.2%	50.0%
第3学年	54.3%	60.0%



目標達成に向けた取組

	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回のOJTを通して、各教科の指導法の基礎を身に付ける。 ・単元計画の中で、探究的な活動を必ず設定する。 ・校内学力テストや東京ベーシックドリル診断テストの結果から、苦手とする単元について復習を取り入れた単元計画を作成する。 ・校内研究をはじめ、通年お互いの授業を見合い、助言し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週金曜日に15分間、東京ベーシックドリルの前学年の問題（1年生は現学年の問題）に取り組む。 ・東京ベーシックドリルの診断テストを年4回実施する。 ・校内学力テストを年1回実施し、前学年までの理解度を把握する。課題のある単元については、授業で重点的に指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎学期はじめに「生活リズム週間」を設定し、家庭学習を習慣付ける。 ・「篠四スタンダード」に全校で取り組み、授業の流れやきまりを身に付ける。 ・毎日の宿題を、漢字・計算・音読に、全学年でそろえる。
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の理解度や問題解決のスピードに応じた課題設定を行う。 ・期間指導、ノート指導、発言等から、個々の学習状況をしっかりと把握し、以前よりもできるようになった部分を積極的にほめ、自己肯定感を高める。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後補修教室教室事業者と連携して、個々の苦手な単元の克服に努める。 ・ミライシードのドリルパークを活用し、苦手分野の復習を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常時、家庭学習（宿題）の提出状況を把握し、家庭と連携を取り合い、提出率が向上するよう働きかける。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力調査「5年までに受けた授業は、自分にあった教え方・教材・学習時間となっていたか」肯定的な回答80%以上 ・全国学力調査「自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていたか」肯定的な回答75%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京ベーシックドリル診断テスト8割達成者 80%以上 ・校内学力テスト（国・算）8割達成者 80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力調査「学校の授業時間以外の勉強時間 1時間以上」の回答割合75%以上